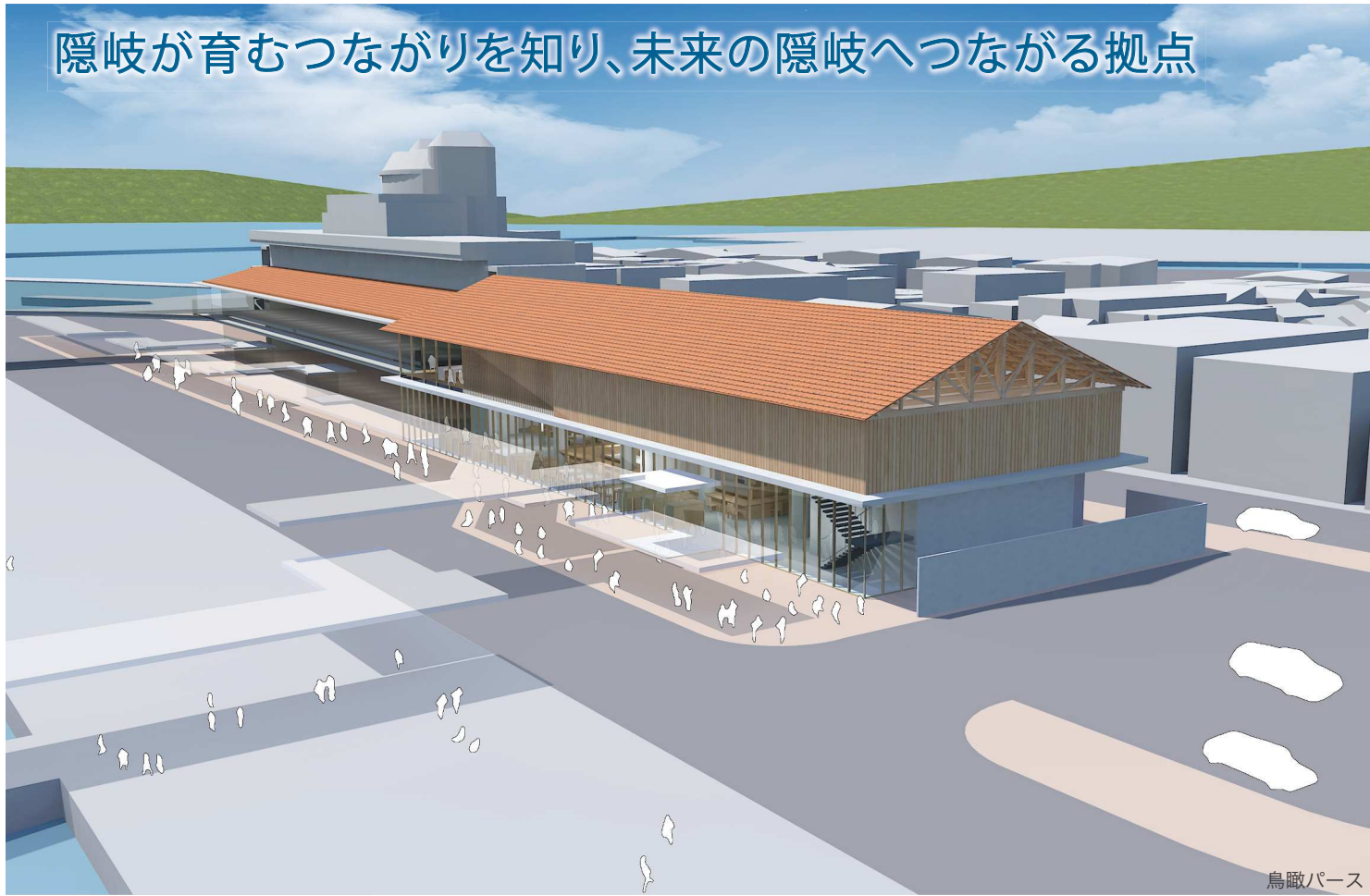


隠岐が育むつながりを知り、未来の隠岐へつなげる拠点



鳥瞰パース

■業務への取組体制

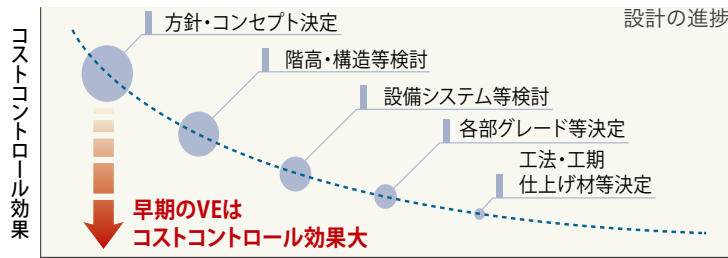
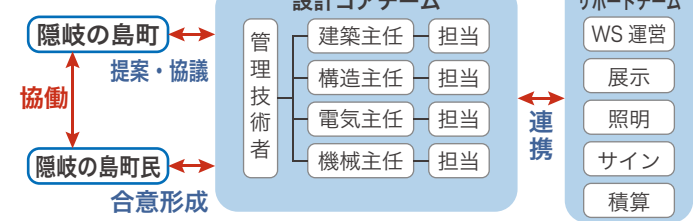
「豊富な同種実績」と「隠岐の島を熟知」した特別な設計チームを編成

- 隠岐の島町で実績があり、島を熟知した管理技術者・意匠主任を中心に設計コアチームを編成します。木造にも強い構造主任と、豊富な実績のある設備主任を加えます。具体的かつ的確な課題解決をおこない、全力で業務に取り組みます。
- 施設の完成度を高めるため、設計コアチームを支援する展示や照明、コストなどの各エキスパートと協働します。

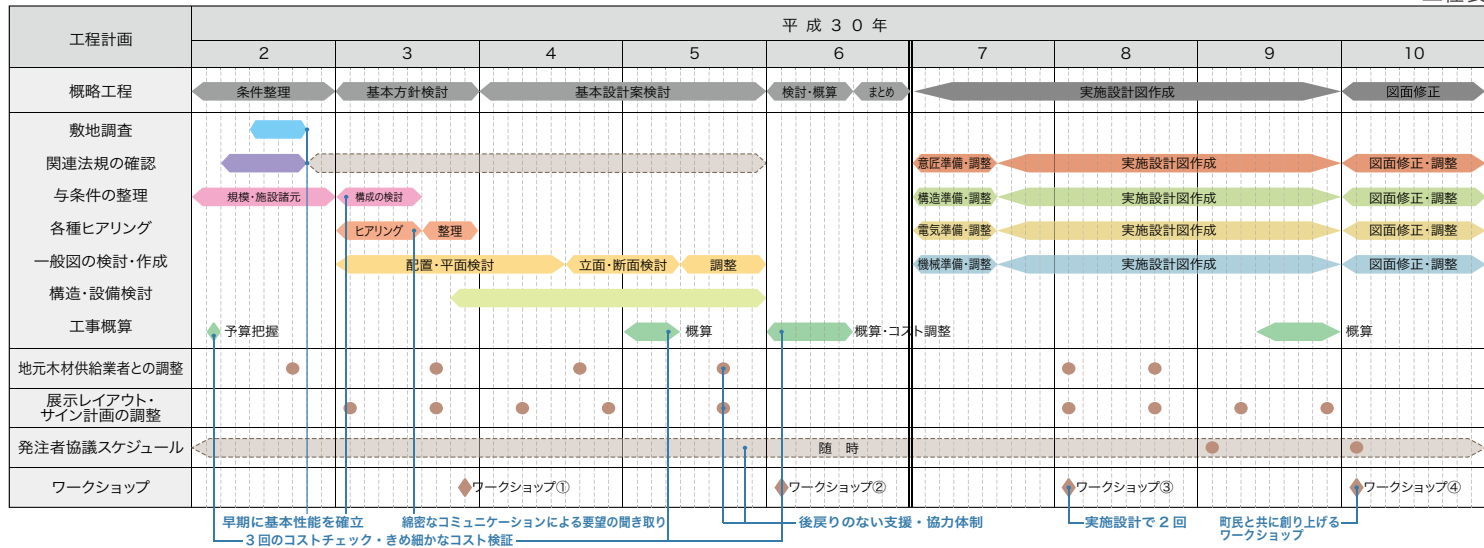
早期の合意形成と、遅延のない的確なスケジュール管理

- 建設コストの80%が決定されると言われる設計初期段階を重点的に管理して、様々な検討を行います。手戻りをなくし、着実に迅速な設計を行うことで、早期の合意形成を目指します。
- 貴町の想定スケジュールに合わせ、必要に応じた担当者の増員を図り、履行期限を厳守します。
- 定期的に打合せを設定し、決定・保留事項を明確にして遅延のない業務推進をします。

設計チーム体制



工程表



■業務への取組方針と体制

設計コンセプト

- 新施設に求められる、これまでの隠岐自然館の展示品等を引き継ぎながら「隠岐ユネスコ世界ジオパークブランド」のさらなる強化・発信を図るという使命を具現化します。

- 「大地・生態系・人とのつながり」を知り、「地域とのつながり」をつくるジオパーク中核・拠点施設を実現するため、3つのコンセプトで設計業務に当たります。

① つながりで隠岐の魅力を伝える

- …フェリーターミナル、まちとつながる全体構成と動線計画
- …各機能が連携する平面計画
- …隠岐の大地・生態系・人の営みのつながりを伝える展示

② 島の資源と技術で島に合わせてつくる

- …RC造と木造の混構造
- …島の技術でつくる木造
- …隠岐の風土にあった建築・環境設備計画
- …島の潮風に耐え、島の人に支えられ長く愛される施設
- …フレキシビリティに優れた平面計画、ライフサイクルコストの縮減

③ 島を訪れる人をお迎えし、ジオパーク活動のシンボルとなる外観

- …フェリーターミナルと一体となって、島の顔をつくるシンブルな大屋根
- …開放的なガラスの外観で活動がまちに広がる

■設計上特に配慮する事項

離島ならではの条件を把握・考慮した業務遂行

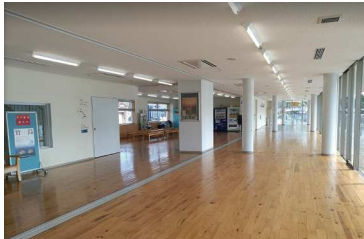
- 離島単価を見込んで施設設計及び概算事業費の算出にあたり、予算超過を防ぎます。
- コンクリートや木材、その他建設資材や工種などの供給状況とコストなど地域特有の条件を把握して業務を進めます。
- 島内の資源と技術でつくることのできる構造形式やディテールを採用し、イニシャル・ランニングコストを抑えます。

ワークショップの開催と設計過程の見える化

- 「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」の目的である、隠岐の人々が誇りと愛情をもって隠岐を語り伝え、隠岐地域の活性化を図ることは、施設建設においても最重要課題の一つです。
- 行政、各種町民団体及び一般公募町民が参加する、新施設について皆で考え語り合うワークショップを開催します。設計過程から参画することで、新施設への興味・関心を高めます。
- WSは、各回ごとにテーマを設定し、設計の進展と対応する適切な時期に開催します。多様な意見をまとめ、合意形成に導くため、ファシリテーターを中心に進行します。
- WSの経緯は、町広報と連携したニュースレターにより情報発信します。施設の計画を通じて取り組んだ町民参加プログラムの成果は報告冊子としてわかりやすくまとめ、今後のジオパーク拠点施設建設のモデルをつくります。
- WSの告知や報告、設計概要、建設工事の進捗を町のホームページに掲載します。また、西郷港フェリーターミナルの一面に新施設プロジェクトコーナーを設置することで、町民や観光客に伝える、設計過程の「見える化」に努めます。



町民参加のデザインWS(弊社実績)



隠岐の島町と一心同体となって支援・遂行する取組体制

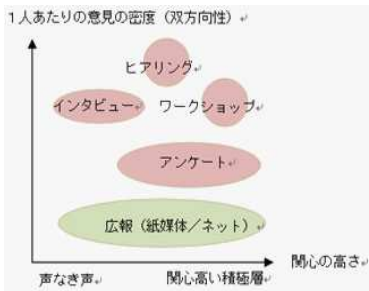
- 設計の早い段階から、入居する事務局機能に対して現況調査と諸元ヒアリングを実施し、コンセンサスを得ながら確実に業務を進めます。
- 地質調査、展示レイアウト、サイン計画など十分に協議をおこない、設計に反映させます。
- ヒアリング調査や町民参画ワークショップを開催して、町民の声を収集します。
- 基本設計案の段階でパブリックコメントを実施し、意見を収集します。基本設計の取りまとめや実施設計に反映します。

課題に応じて最適な解決手法を実践

- グループヒアリング、ワークショップなどのプログラムを組み合わせ、課題に応じて最適な解決手法を実践します。
- 丁寧な対話を重ねる設計手法は協議決定に時間がかかるケースもあります。しかし課題に対して最適な解決手法であれば工期内で揺り戻しのない、確実にスムーズな課題解決が可能です。その見極めを確実におこないます。



関係団体グループヒアリング



適切な課題解決手法の選択

ジオパーク施設として隠岐産木材の積極的な利用

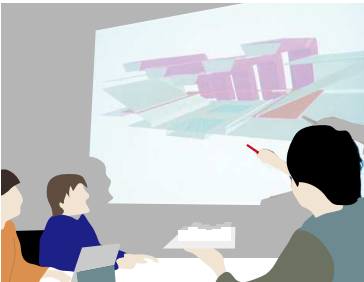
- 製品寸法、樹種、含水率など島内で供給可能な木材を把握し、採用します。施設完成後も島内業者が関わり続けることができる仕組みづくりをおこない、ジオパーク施設としてふさわしい木材利用を検討します。
- 設計の初期段階から木材生産者との事前の打ち合わせの場を設けます。生産者と調整を図りながら必要な時期に必要な原木を確実に調達します。
- 施設の見える場所に隠岐産材を使うことで、大地・生態系・人の営みのつながりを施設を通じて感じることができます。

バリアフリー、ユニバーサルデザインの徹底

- 多世代の施設利用者や障害者を含むすべての人にとって使いやすいわかりやすい施設整備を目指します。
- 建具は引き戸を基本とし、不要な段差は極力解消します。
- 分かりやすいサイン計画を行います。目的場所までのスムーズな誘導や、海外からの来島者に向けた施設のグローバル化に対応します。

わかりやすい資料を用いた打ち合わせ

- 発注者との協議や町民ワークショップ・説明会において、図面だけではわかりにくい内容についてはCGやスケッチの活用により相互理解を深めます。
- 施設全体のイメージについては模型等を活用して、関係者全員で俯瞰しながらイメージの確認・共有をおこないます。



CGによるプレゼンテーション



模型によるスタディ